

大津島データ 151世帯
人口 205人 男 83人 女 122人
高齢化率 80.0%
(令和4年1月31日現在)

潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



令和4年1月22日(土)、大津島小学校体育館で医療従事者、デイサービスセンター職員、つづみ園職員、海の郷職員、コミバス運転手等の協力により大津島一斉の集団コロナワクチン接種(3回目)が予定通り行われました。

▼報告者：大津島支所 原田 和保

大津島集団ワクチン接種(3回目)



周南市では、3回目接種が大津島で初めて行われました。寒さが続いていたため、接種される方々の体調も心配されましたが、万全な体制で実施されたことに感謝しております。大変お疲れ様でした。



大津島地区自治会連合会長の安達壽富さんが全国自治会連合会表彰を受けられました



令和4年1月26日(水)本浦地区の安達壽富さん宅にて、周南市地域振興部の岩崎達也部長より全国自治会連合会表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。本来、全国自治会連合会の全国大会で表彰を受ける予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となったため、伝達を周南市自治会連合会長の大山政男会長から周南市地域振興部長に一任されました。大津島地区の自治会連合会の代表者として在職18年、本浦東自治会の代表者として在職21年と、住民自治組織の発展向上について、特にその著しい功績を認められました。本当におめでとうございました。



雛祭りの時期に、新年のあいさつをするのも変ですが、本年もよろしくお願いいたします。折角、建国記念の日奉祝行事&文化祭で皆さんとお会いできることを楽しみにしておりますが、叶わず残念です。



新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止となり、若潮の会も令和3年度は、清掃作業が主な島での活動となりました。早く、船賃出してくれたメンバーに感謝です。桜の咲くころには、島の皆さんともお会いできるかな。



文：佐々木 照彦

- 4月 3日 大津島公園の整備(馬島)
- 5月 23日~10月 23日 さつまいも畑(本浦)
- 7月 17日 海岸清掃・稚魚放流(刈尾・三ツ石)
- 8月 28日 大津島小学校グラウンド草刈り(馬島)
- 10月 16日 海岸・海底清掃(馬島・天ヶ浦)等々。



31 記念碑が設置され展望デッキも開放

文：大津島巡航 三崎 英和

徳山下松港が開港して100周年になったことは、ニュースでも報道されているので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。それを記念して、フェリーターミナルの西側には芝生広場が完成し、そこに記念碑やモニュメントが設置されました。それに合わせて、西側エリアでは駐車場や防潮堤の整備工事が実施されましたが、令和4年度以降は随時、駐輪場や通路などの追加工事が行われる予定で、また工事が未着手の東側エリアでも、駐車場や防潮堤などの整備が進められていきます。時期は未定ですが、フェリー乗場付近での防潮堤が構築される時には、ご迷惑をおかけしますが、どうかよろしくお願いたします。ところで、ポートビル屋上の展望デッキも2月から解放されましたので、様子をうかがいながら上がってみました。デッキへの出口のドアは2枚あり、それぞれに縦に長い取っ手が、2枚のドアの真ん中を挟んで取り付けてあったので、それぞれを手で持ち押ししてみたり、引いてみたりしたのですが、一向に開きません。今日は閉まっているのかとあきらめて降りようとしたとき、何気なく片方のドアを横にスライドさせてみると、何と簡単に開いたのです。そのドアは開き戸ではなく引き戸だったので、誰かに見られていたら恥ずかしくなるような瞬間でした。

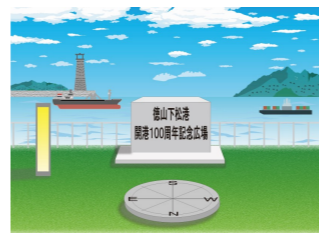


イラスト 三崎 英和

1月5日(水)に令和4年消防出初式が行われました。本年もコロナウイルスの再拡大に伴い、行進等屋外での活動は省略され、式典のみの開催となりました。表彰の際、昨年まで40年間島の消防団として活躍された古城隆夫さんが退職消防団員報償を受賞されました。ここに長年島の安全の為に尽力された事に感謝を申し上げます。さて、今年に入り国内外で様々な自然災害が起きています。いざ何か起きた時にまずすることや、外に出るのなら何を持ち出すべきか、可能な限りシミュレーションしていく事が大切です。消防団としても迅速に活動できるよう研鑽に勤めて参ります。



文：内山 剛

ひろしのつづき



文川屋野廣志

久し振りに週刊誌なる物を見る。見出しに脊柱管狭窄症に対する策とある。私の最も苦しむ歩行難なる病である。全国推定600万人と有り同病相あわれむの思い、大津島人口200人として10名の割合いとなるが、高齢化する島では歩行難の人は更に多い様に見へる。

病気怪我と云へば絶対安静と思へども、此の病は動いて治せ、歩く事が最高良薬との事。安静は百害あって一利なし。コロナ禍でのオミクロン株感染度が高い恐れはあるが快復し、免疫健全者と成る人も全てであれば、国難と恐れるに足らず。脊柱管狭窄症の方が国難である。此の病のワクチンを望む。

人生100才時代の加齢に比して神経痛に苦しむ人も増すだろう。父母や先輩の苦痛を想像しながら、歩く方が良いか安静が良いか。血圧も年令に+90と云えば180。我が心臓の強靱さを誇るべし。メタボが長寿とか、日本人は塩分不足とか、人は水分の飲み過ぎと云えば、人それぞれ個人差あり。私は今日も横たわり安静を最高と筋肉の劣へを気にしながら・・・

(原文のまま)

◆ 令和3年度 建国記念奉祝行事・大津島文化祭 ◆

令和4年2月に開催を予定しておりました建国記念奉祝行事及び大津島文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大の防止に伴い、中止させて頂きました。楽しみにされていた皆様、関係者の皆様には何卒ご理解の程、よろしくお願いいたします。

● 大津島支所での期日前投票

令和4年1月24日に大津島支所で山口県知事選の期日前投票が行われました。大津島支所で初めての期日前投票が行われました。

※高齢者バス・タクシー運賃助成券（令和3年10月1日～令和4年3月31日）必要な方は、支所の窓口まで、よろしくお願いいたします。

令和4年度 周南市航路利用券を交付します

- ①対象者：75歳以上の大津島地区住民
- ②交付枚数：12ヵ月×2枚＝24枚（令和4年4月1日から使用可）
- ③受付期間 令和4年3月22日（火）から
- ④申請場所 大津島支所 市役所本庁 公共交通対策課（岐山通1-1、3階西側）
- ⑤申請方法 健康保険証や運転免許証など、本人確認ができるものをお持ちください
- ⑥その他
 - ・令和4年度中に75歳を迎えられる方は、誕生日以降に受付となります。
 - ・5月以降に申請の場合、交付枚数は申請月から令和5年3月までの月数×2枚となります。
 - ・代理人による申請も可能です。その場合は、代理人の方の本人確認ができるもの（健康保険証や運転免許証など）をお持ちください。
- ⑦問合せ 公共交通対策課（☎0834-22-8426）

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
5月1日 第285号

移動図書館 やまびこ号ジュニア
3月12日（土）、4月8日（金）
馬島11：30～ 刈尾12：20～

大津島地区社会福祉協議会からのお願い
善意銀行への寄付にご協力ください

【編集後記】
新しい年を迎え、コロナとも完全におさらばしたいところです。たしか1月の終わり頃だったでしょうか。大津島へフェリーで向う途中、スナメリの群れを発見しました。なぜだか心が癒やされたことを思い出します。今年は、北京オリンピックで日本人が活躍しました。大津島でも昨年、秋に赤ちゃん誕生のBIGニュースがありました。今年も明るいニュースを期待しています。

文責：原田 和保

知っちゃうかな

汽笛の響き

年末の港の風物詩として、年明けの汽笛があった。もしかすると、あの東北の大震災の年に、自粛したとも聞かすが、ここ何年かは聞かなくなった。その前は、十二月三十一日が明けて、十二時を過ぎると、港にふらして（停泊）いる大型船が一斉にポーッと汽笛を鳴らす。船毎に違った音色のそれが、互いに響き合って聞こえる様は、いかにも新しい年を祝うように思えた。家の中にいても、船の中の人たちと一緒に、年明けを寿ぐ気持ちを一いつにしようとして大好きだった。それと一緒に、あはれは正月も出来んと船に残った人が、故郷を思いながら鳴らしよるんでよと、いつか父が言ってたっけ。

今年の年明けに、息子が「あれ、汽笛がならんね」と言っって、今更ながら気付けば、こここの何年何年明けの汽笛を聞いてない。除夜の鐘もうるさいとクレームが出て、鳴らせなくなったという時代。汽笛もこうした時の流れで復活しなかったのかもしれない。何だか淋しいような気もする。汽笛の音は元は、注意喚起のものだからだろう、耳に残る響きだ。霧の海上やすれ違い時の航路の危険を知らせる時に、ポーッと気忙しく鳴らされる音に、思わず無事に通る過ぎるまで見てしまう。あるいは、船員である島の男が、休暇で戻って



文川松本 千恵子

いるのを、迎えに来たのを知らせるために、ポーッと鳴らす。すると、島から小さなボートに乗って男が船まで戻り乗り込んで出航して行く。子供にとっては、大好きな父ちゃんを連れて行く、憎らしい音でもあった。愉快な話を聞いた。少し昔の話。まだ、テレビラジオもなく、船もエンジンは少なく、聞こえるのは波の音、風の音など自然の音だけで、静かな暮らしの日々、初めての汽車が櫛ヶ浜駅に着いて、汽笛を鳴らした。聞いた事のない、ポーッと腹までも響く音に、島の人たちは、たまげ驚いて飛び上がった。その恐ろしい音に、恐ろしいモノと言えは狼と言つ連想で、皆、狼じや、狼が来たといひと騒ぎあったと言つ。今はオッサンになった息子が、山口の駅で突然鳴った「山口号」の汽笛に飛び上がった泣き出したのを思い出した。汽車が出発の時、汽笛を鳴らすように、船も出航の時には汽笛を鳴らす。あの戦艦大和も最後の出航の時、この沖を汽笛を鳴らして出て行ったそうだ。ポーッと響くその音が、何か長く長く響いたものだと思ふ。

⑤ 春の口占



文川回天記念館 佐伯 孝洋

こんにちは、この原稿を書いている今は、まだまだ寒い毎日ですが、みなさんが読まれる頃には暖かくなっているのではと思います。そんな訳で私が大津島で感じている春の足音（気配）について書いて見たいと思います。花では、水仙、大津島の水仙は咲くのは早く12月には咲き始めます。大津島は水仙が多く植えられていて道の端、山裾で見ることが出来ます。道の側は落葉樹が多く枯れ木のような風景に彩りを与えてくれています。また、椿の花が咲いて春の近いことを感じる事が出来ます。先日、ウグイスを見つけたことが出来ました。ウグイスといえば「ホーホケキョ」の鳴き声ですが、繁殖期の5・6月しか鳴かないようなので、まだ鳴き声は聞けません。早くウグイスの鳴き声が聞けるといいなと思ふ。また、咲いていませんが、